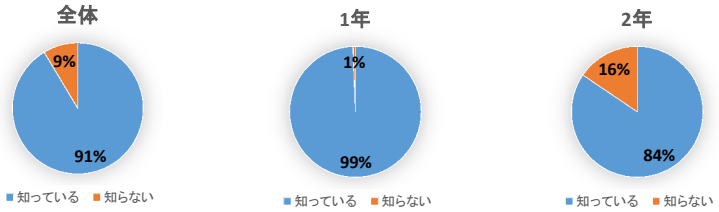
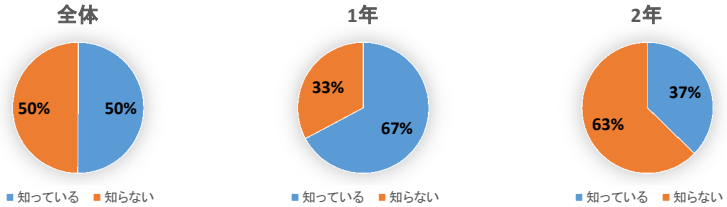
Ｈ２９年度　保護者による天草高校SSH意識調査アンケート集計結果

Q1:天草高校がSSHの指定校であることを知っていますか

※3年生の保護者様の回答は全体に含めています

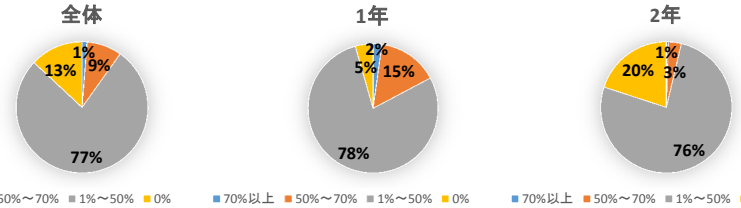


Q2:天草高校のSSH研究開発課題を知っていますか



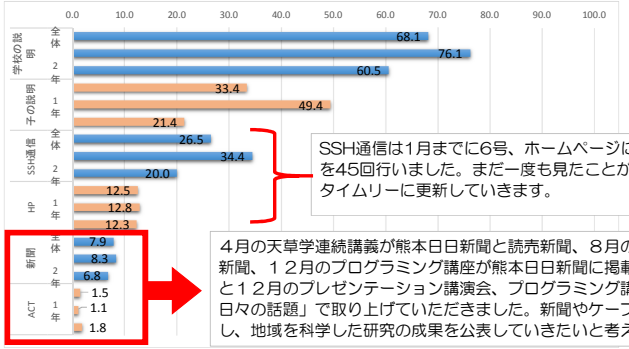
SSH指定校となったことに対する認知度は非常に高いものでした。研究課題は「地域の豊かな自然環境の中で多様な能力を身に付け世界に飛躍する科学技術人材の育成」です。ポイントは、**「地域を科学」「多様な能力」「世界に飛躍」**。そして、そのための特色ある教育課程を開発します。わかりやすく述べると**「サイエンスの宝島天草から世界へ」**となります。

Q3:今年度実施・参加したSSH事業をどの程度知っていますか



アンケートにある項目を見て初めて知った事業も多かったかと思います。今年度実施したものは来年度も同じ時期に継続して実施する予定です。ホームページやＳＳＨ通信で随時公開していきます。

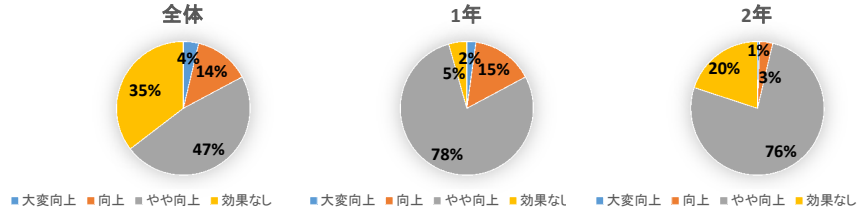
Q4:天草高校のSSH事業を知ったきっかけは何ですか（※複数選択可）



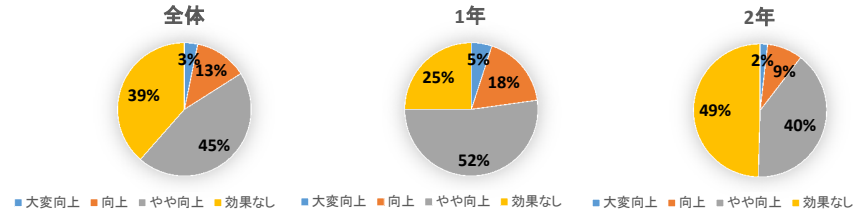
SSH通信は1月までに6号、ホームページにSSHのページを立ち上げ、1月までに更新を45回行いました。まだ一度も見たことがない方は、ぜひ一度ご覧ください。今後もタイムリーに更新していきます。

４月の天草学連続講義が熊本日日新聞と読売新聞、８月の九大臨海実験所研修が熊本日日新聞と読売新聞、１２月のプログラミング講座が熊本日日新聞に掲載されました。また、４月の天草学連続講義と１２月のプレゼンテーション講演会、プログラミング講座を天草ケーブルネットワークの「天草日々の話題」で取り上げていただきました。新聞やケーブルテレビを通して、地域の方々に広く広報し、地域を科学した研究の成果を公表していきたいと考えています。

Q5:お子様の科学技術に対する興味・関心・意欲が増しましたか

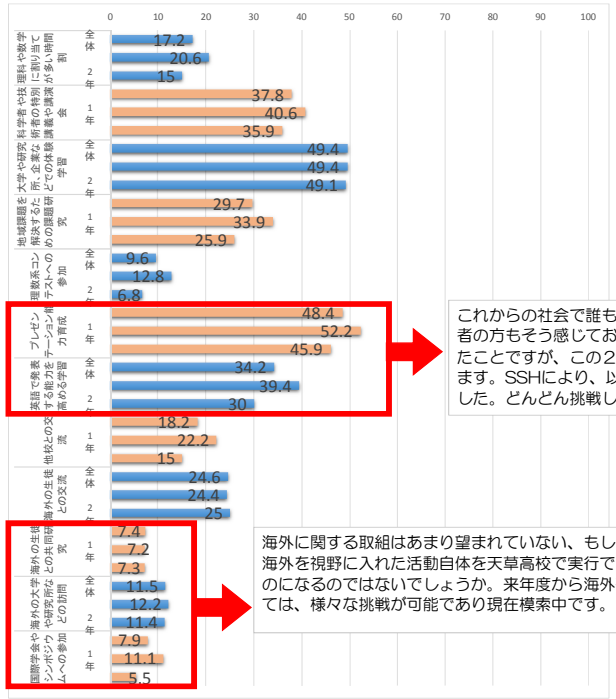


Q6:お子様の科学技術に関する学習に対する意欲が増しましたか



保護者の方から見て、講演会等で得た興味関心を学習意欲に継続してつなげることは難しいようです。刺激を受けたその日は良いのですが…と、保護者の方からよく聞きます。SSHの講演会は、生徒たちの将来をイメージしながら講師を選定しています。ドローンや３Ｄプリンターが校内にあるのですが、生徒たちの方が扱い方が上手いです。そういった体験も刺激になっているようで

Q7:天草高校SSH事業に求めること



全体回答割合が２０％を超えている６つの項目に関しては、今年度も実施をしています。海外生徒との交流も土坪高校との交流で実現できました。これらは、さらなる改善を目指し計画を立てていきます。
残りの６項目に関しては、開発途中です。しかし、実現できれば生徒にとって貴重な経験となるものばかりです。今後も模索していきます。

これからの社会で誰もが必ず求められる力がこの２項目です。保護者の方もそう感じておられるのだと思います。今年度の取組で感じたことですが、この２つは意欲を持ち、練習すると確実に上達できます。SSHにより、以前より格段に練習及び実践の機会が増えました。どんどん挑戦して力を付けてほしいです。

海外に関する取組はあまり望まれていない、もしくは身近ではないといった感じでしょうか。海外を視野に入れた活動自体を天草高校で実行できれば、天草全体にとっても海外が身近なものになるのではないでしょうか。来年度から海外研修がスタートする予定です。この点に関しては、様々な挑戦が可能であり現在模索中です。

回答の御協力ありがとうございました。